

まちづくり メールニュース

Vol. 247
(H28.10.5)

北海道開発局都市住宅課
まちづくり相談窓口

今号の記事

- 平成28年度地域づくり表彰受賞団体が決定～道内から2団体が受賞～
- 「～本音で話そう～まち育てフォーラム in 富良野 2016」の開催 (10/28(金))
- 平成28年度「住生活月間」(10月1日～31日)の実施～想像ひろがる未来の住まい～
- 「水のめぐみ」とふれあう水の里の旅コンテスト2016」募集中！(10/31(月)迄)
- 「まちづくりセミナー」の開催～11/1(火)札幌市会場～

各項目の○をクリックすると
各項目見出しに
ジャンプします

まちづくりに関して紹介したい地域の取組、配信アドレスの変更等については、
まちづくり相談窓口(メールはこちら)まで **※配信希望は随時受け付けております。**

平成28年度地域づくり表彰受賞団体が決定 ～道内から2団体が受賞～

国土交通省は、創意と工夫を活かした広域的な地域づくりを通して、個性ある地域の整備・育成に顕著な功績があった優良事例を表彰する「地域づくり表彰」の今年度の受賞団体を決定しました。(国土交通省の報道発表は[こちら](#))

全国から6団体が選定され、道内からは富良野市の「富良野オムカレー推進協議会」と江差町の「江差町歴まち商店街協同組合」の2団体が選定されました。

受賞団体は、有識者等で構成される審査会において審査され、特に優良な事例として選定されたもので、優良事例に与えられる各賞(国土交通大臣賞、全国地域づくり推進協議会会長賞、日本政策投資銀行賞及び審査会特別賞)の発表及び表彰式の授与が、11月25日(金)に開催される地域づくり全国交流会議において行われる予定です。

道内からの過去の受賞例としては、平成26年度に美幌町の「美幌ブランド開発検討委員会」、平成22年度に小樽市の「小樽雪あかりの路実行委員会」などがあります。

富良野オムカレー推進協議会



食材が豊かでありながら、観光客は「景観」や「ドラマロケ地」を求め訪れる方が多く、富良野市の基幹産業である農業と観光の共生・相乗効果を図ることを目的に、富良野産の多種多様な農畜産物を利用でき、地産地消や食育にも取り組みやすい「カレー」に着目し活動を開始。

道内外の食イベント等へ参加し、富良野オムカレーのブランド化につながる活動を展開するとともに、食品メーカー、地元高校等と連携し、家庭の食卓でオムカレーを作る・食べる食文化を醸成するプロジェクト活動なども展開している。

カレーのまち「ふらの」が道内外に浸透し始め、旅行情報誌に特集記事が組まれるなど、「景観」や「ドラマロケ地」に加え「食」による観光も、富良野市を訪れる観光客の目的の一つになりつつあり、経済面、地域・団体との連携・交流等に成果を上げている。

江差町歴まち商店街協同組合



江差町は歴史的建造物や史跡、旧跡が多く残されており、「中歌町、姥神町一帯の旧国道沿い地区」(通称いにしえ街道)は、平成元年に北海道より歴史を生かすまちづくり事業のモデル地区に選定され、歴史的建造物の保全・整備のみならず、町民の生活環境の質的・精神的・経済的向上に寄与している。これらの地域資源を活用したまちづくりと商店街活動を行うことを目的に取組を開始。

毎年、2月・3月に「ひな祭り」、5月に「春のいにしえ夢開道」等、季節に応じたイベントを開催し、観光客誘致に成果を上げており、いにしえ街道沿いの住民が語り部となり、先祖から伝わる話を語り継ぐ「百人の語り部」を実施し、まちの魅力を観光客、修学旅行や自主研修で訪れる子どもたちに伝える活動も行っている。

平成28年3月の北海道新幹線開業を契機に、今後更なる交流人口拡大に向けた取組も検討している。

「～本音で話そう～まち育てフォーラム in 富良野 2016」の開催

10月28日(金)に富良野市において、「～本音で話そう～まち育てフォーラム in 富良野 2016」が開催されます。(主催：ふらのまちづくり株式会社)

主催者のふらのまちづくり株式会社は、富良野市の中心市街地を活性化するために行政と連携しながら事業を展開しています。特に「[フラノマルシェ](#)」「[フラノマルシェ2](#)」は、平成22年の開業以来の来場者数がこれまで累計500万人を超え、まちなかに人を呼び込み、中心市街地の活性化や魅力を高めることに貢献しており、このことなどが評価され、今年6月に第5回まちづくり法人国土交通大臣表彰【まちの活性化・魅力創出部門】国土交通大臣賞を受賞しました。

(※[まちづくりメールニュース vol.244](#)でもご紹介しています。)

今回の“まち育てフォーラム”では、富良野市や全国各地の中心市街地活性化の手法・まちのマネジメントを学び、参加者の意見交換等を通じて相互の取り組みが全国に発信・拡散されることを目的に、先駆的な手法で中心市街地活性化に取り組んでいる3地区(青梅市、富士市、飯田市)からキーパーソンの方々を招いてその事例発表とフラノマルシェ事業評価研究会による富良野市中活事業に対する考察、そして発表者らによるパネルトークが行われます。

フォーラム終了後は講師の皆さんを囲んでの交流会(有料)も開催されます。

- 日時 平成28年10月28日(金)
13:00～18:00
※交流会は18:30～20:30
- 場所 フラノマルシェ2 アトリウム
TAMARIBA (タマリーバ)
＜富良野市幸町8番5号＞
- 参加料 無料
※交流会参加者は3,000円です。



参加ご希望の方は、参加申込書により **10月14日(金)まで**に「ふらのまちづくり株式会社」までお申し込みください。

※参加申込書その他詳細は、[ふらのまちづくり株式会社HP](#)の「[開催のお知らせ\(pdf資料\)](#)」をご覧ください。



フォーラム会場となる「TAMARIBA (タマリーバ)」(中央)

平成28年度「住生活月間」(10月1日～31日)の実施 ～想像ひろがる未来の住まい～



国土交通省では、国民の住意識の向上を図り、豊かな住生活を実現するため、毎年10月を「[住生活月間](#)」と定めており、総合的な啓発活動を展開しております。

今年度においても、官民協力の下、シンポジウムや住宅フェア等を通じて、国民の住生活の向上に役立つ様々な情報を提供します。

道内で予定されている地方公共団体関連行事

■賃貸住宅の住環境向上セミナー

- [主 催] (公財)日本賃貸住宅管理協会 [後 援] 国土交通省、北海道、札幌市
 [日 時] 9月～11月
 [会 場] 道内は北見市(10/15)、旭川市(10/22)、千歳市(10/29)、
 函館市(11/5)、室蘭市(11/12) (※釧路市は9/24、札幌市は10/1に開催済み)
 [内 容] 賃貸住宅管理業の必要性や、「民泊」の実態と問題点、今後の対応など、今話題の賃貸情報を解説します。また、5年ぶりに改定された「住生活基本計画」や民法改正による影響など、行政の重要性を賃貸住宅管理のプロ・弁護士が講演します。

■木造住宅の耐震化に関する相談

- [主 催] 札幌市、北海道建築士事務所協会札幌支部
 [日 時] 毎週水曜日 13時～16時(祝日、年末年始は除く)
 [会 場] (一社)北海道建築士事務所協会札幌支部(札幌市中央区大通西5丁目大五ビル6階)
 [内 容] 木造住宅の耐震化について、専門の建築士が無料で相談に対応します。

■建築物の耐震化に関する相談

- [主 催] 札幌市、北海道建築士事務所協会札幌支部
 [日 時] 毎週金曜日 13時～16時(祝日、年末年始は除く)
 [会 場] (一社)北海道建築士事務所協会札幌支部(札幌市中央区大通西5丁目大五ビル6階)
 [内 容] 木造以外の建築物の耐震化について、専門の建築士が無料で相談に対応します。

■「きた住まいる」全道一斉オープンハウス

- [主 催] 北海道
 [日 時] 10月～11月
 [内 容] 「きた住まいるメンバー※」により、道内各所でオープンハウスを実施します。

※きた住まいるメンバー：北海道が定めたルールを守り、「安心して良質な家作り」ができる住宅事業者として、北海道に登録された事業者

■住宅関連事業者向け住宅セミナー

- [主 催] 根室地域住宅協議会、中標津町
 [日 時] 10月18日(火) 13:30～15:45
 [会 場] 中標津町役場 3階 301会議室
 [内 容] 根室管内の良質な戸建住宅ストック形成を推進する取組として、注文住宅雑誌編集者による講演を行います。

- その他にも、北国の住まいづくりパネル展(10/20・21 道庁)、住まいのリフォームセミナー(10/22 留萌市)、第7回くしろ安心住まいフェア(10/22 釧路市)が行われます。

※その他詳細は、[国土交通省HP](#)をご覧ください。

「水のめぐみ」とふれあう水の里の旅 コンテスト2016」募集中！

国土交通省は、「水のめぐみ」とふれあう水の里の旅コンテスト2016」の募集をしています。応募締め切りは **10月31日(月)** となっています。

当コンテストは、水の里の観光資源を活用した旅の企画を募集し、すぐれたものを表彰することで、水の里の大切さと魅力を伝え、地域の活性化につなげていくことを目的に、平成22年に始まり、今年で7回目となります。

「水の里」とは…

ダム周辺など、おおむね河川の上流部の区域に位置する“まち”や“むら”のことです。

【応募部門】

1. 一般部門
2. 学生部門（大学以下）※今回から新設されました。

【応募企画の条件】 次の1～3にあてはまる旅の企画です。

1. 水の里を対象地域に含んでいること
 2. 水の里の活性化に貢献するものであること
 3. 旅行者が、自らの暮らしと水の里との関係について考えるきっかけとなること
- ※ 企画段階のもの、すでに催行されているものを問いません。

【賞】

最優秀賞・優秀賞・奨励賞（それぞれ一般・学生部門 各1点）

特別賞（観光庁観光資源課長賞 1点、絶景賞 2点程度）

【審査結果の発表】

- ・審査 平成28年12月に実施予定
- ・表彰式 平成29年1月に国土交通省にて開催予定
各賞の受賞者1名分の交通費を支給

※応募方法、エントリーシートその他詳細は、[国土交通省HP](#)をご覧ください。

■過去の受賞例■

道内では、東川町観光協会『ひがしかわ DE 水みずしいゆとり旅 ～「水の町」×「写真の町」にしかできない思い出写真づくり体験ツアー～』が2011年の**特別賞**を受賞しています。

昨年は、岐阜県下呂市『日本で最も美しい村を巡る水の旅 ～馬瀬川流域で美しい村・おいしい村を体験しよう～』が**最優秀賞**を受賞しています。

他にも優秀賞1点、奨励賞2点、特別賞2点が表彰されています。

なお、過去の受賞企画は[こちら](#)をご覧ください。



「まちづくりセミナー」の開催 ～11/1(火)札幌市会場～

公益財団法人都市計画協会は、11月1日(火)に札幌市において「まちづくりセミナー」(後援：国土交通省北海道開発局、北海道、札幌市)を開催します。

「まちづくりセミナー」は、良好なまちづくりの一層の推進を図ることを目的とし、平成22年度から全国各地で開催されており、本年度は札幌市のほか姫路市と横浜市で開催されます。

札幌のセミナーの内容については以下に掲載のとおりで、午前に現地見学会を、午後に国土交通省担当官及び地元学識者による講演会を予定しております。

協会会員をはじめとして、都市計画行政の担当者や民間事業者、コンサルタント・まちづくり団体関係者など、多くの方々のご参加をお待ちしております。

【開催日時】 11月1日(火) 10:00～16:30(予定)
※午後の講演会(13:30～16:30)のみの参加も可

【開催場所】 北農健保会館 大会議室
札幌市中央区北4条西7丁目1番4号(JR札幌駅 徒歩5分)

【募集定員】 130名

【セミナー内容】

◆現地見学会 (9:30 受付開始：北農健保会館)

10:00～11:30

ガイダンスの後、市内中心部のまちづくり(北3条広場アカプラ、札幌駅前通地下広場、路面電車ループ化等)を現地見学予定

<各自昼食>

◆講演会 (13:00 開場：北農健保会館)

13:30～14:40

「都市計画をめぐる最近の動き(仮)」

講師：国土交通省 都市局 都市計画課 企画専門官 石井 秀明 氏

15:00～16:30

「札幌の都市計画と地方都市の現状(仮)」

講師：北海道大学大学院公共政策学連携研究部 教授 高野 伸栄 氏

【参加費】 会員 1,000 円、非会員 1,500 円(テキスト資料代)

【申込締切】 定員になり次第締め切りとなります。

※セミナーの詳細及び参加申し込みは、[公益財団法人都市計画協会HP\(イベント情報\)](#)の「平成28年度まちづくりセミナーのご案内」をご覧ください。